



©YAMADA Satoshi



©HIRAMATSU Masatoshi



©MAEDA Narimi



©NAKAMURA Mayumi

おおいた障がい者芸術文化支援センター企画展 Vol.15

観覧料
無料

2023.11.8 (wed) ▶ 11.18 (sat)

開館時間: 10:00~19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

会場: 大分県立美術館1階 展示室A

【同時期開催】第28回 ときめき作品展 会場: 大分県立美術館1階 アトリウム

主催: おおいた障がい者芸術文化支援センター
[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団]

協力: 一般財団法人たんぼの家、たんぼの家アートセンター-HANA、
Able Art Company、Good Job! Center KASHIBA

後援: 大分県教育委員会、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、
大分県障害者社会参加推進協議会、大分県民芸術文化祭実行委員会、
NPO法人大分県芸術振、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、
TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレコム
第25回大分県民芸術文化祭参加行事

この展覧会は、大分県から(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団が委託を受け、企画・運営しています。

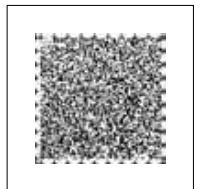


文化絢爛
ぶんかけんらん

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭2023
令和5年10月14日(土)~11月26日(日)

ユニボイスコード

スマホアプリを利用して情報を
音声で聞くことができます。





© HIRAJIMA Jiraf



© SO KAME Fumiko



© NAKAGAWA Megumi

アートの扉

たんぼの家アートセンターHANAで、日々アトリエや生活のなかで生まれる個性豊かな作品を紹介いたします。アーティスト一人ひとりのユニークな発想や技法により生まれた絵画や造形、日常の行為や周囲の人との関係性から生まれた作品など、表現の多様さと私たちの価値観を描き表す作品の奥行きをお楽しみください。

たんぼの家(奈良)

アートとケアの視点から、さまざまな事業を実施している市民団体。障がいのある人が表現活動を仕事にする「たんぼの家アートセンターHANA」、アート・デザイン・ビジネスの分野をこえ、社会に新たな仕事をつくりだす「Good Job!センター香芝」などを運営している。その他、アートと社会の新しい関係をつくる「エイブル・アート・プロジェクト」や、障がいのある人との協働から生まれる新たなはたらきかたを提案する「Good Job!プロジェクト」を行っている。1973年の発足以降、50年にわたり多岐に及ぶ活動を展開。2022年には文化の向上発展に関して特に功績が顕著な者に与えられる「文化功労者」に理事長の播磨靖夫が選出される。

Artist

荒井 陸、伊藤 樹里、小松 和子、澤井 玲衣子、十亀 史子、中村 真由美、H・K、福岡 左知子、前田 考美、山野 将志

奈良

あける扉を

また、大分の作品に加えて、障がいのある人の「自分らしい生き方」のために五十年以上の間、幅広く活動を続けてきた奈良の「たんぼの家」の作品とその取り組みも紹介いたします。本展を通じて、扉の向こうの多くの可能性とその人自身の姿を感じていただけたら幸いです。

今回のテーマ「扉をあける」には、今、自分が立っている場所から次のフェーズへのアクション(行動)の意味を込めています。おおいした障がい者芸術文化支援センターが設置されてから四年が経ちました。支援センターの色々な事業を通じて、アートによって「可能性の扉」をあけてきた障がいのある人や福祉施設にたくさん出会うことができました。本展では、その様々なスタイルの表現をご紹介します。



Able Art Company × Tabio



写真: 秋山まどか
たたいて みがいて つくる木の仕事



写真: 衣笠名津美



「鹿コロコロ」
企画: 株式会社中川政七商店

デザインの扉

「障がいのある人のアートに仕事に」という思いから生まれた「Good Job!プロジェクト」、企業やデザイナーとコラボすることにより、障がいのある人の創造性をいかしたプロダクトが日々生まれています。デジタル工作機械と手しごとを組み合わせた製品や、伝統工芸と福祉のものづくりのあり方を考える「New Traditional」プロジェクトなどを紹介します。

表現の扉

障がいのある人たちの表現は、日々の暮らしのなかからはじまり、創造的な環境やサポートによって育まれ、作品として発信されます。身体や言葉で交わされる表現もふくめて、その人の存在そのものの魅力を伝える舞台表現や、アートかどうかという観点だけでなく、「表現することは生きること」と捉えて日々活動する現場の様子をご覧ください。



HANA PLAY: 舞台「賢な時間」



アートセンターHANA アトリエの様子



© 2010 Kazumi



© MASHIRO Akimitsu



© SHIBASAKI Remi



© NISHIO Eri



© SHIRO Saotome

© YASUKI Manaru

支援センターの事業で出会った沢山の方々の中から、「可能性の扉」をあけ、独自のスタイルで作品を制作し続ける方々や施設をピックアップしました。

Artist

岩川 日向子、衛藤 富雄、小野 天哉、小野 治代、後藤 和美、芝崎 礼実、清家 末次、武井 のぶみ、田上 守、とよみ園、西尾 枝里、希美 (nozomi)、平松 政敏、プロフェッサー・ミレニウム、堀内 俊輔、真澄アキヒロ、山田 聖

大分

扉を



©NAKAMURA Mayumi

観覧料
無料

ユニボイスコード
スマホアプリを利用して情報を音声で聞くことができます。



第38回国民文化祭 第23回全国障がい芸術文化展
いしかわ百万石文化祭 2023
令和5年10月14日(中)~11月26日(日)

EVENT イベント情報

参加料・観覧料 無料

ワークショップ

○と△と□で掛け軸をえがく

つくる

作者と出会う

前田さんは墨と水彩絵の具を使い、季節の催しや植物を○△□で描きます。このワークショップは、そんな前田さんの作風を体験して楽しむ創作プログラムです。完成した作品は掛け軸にしてお持ち帰りいただけます。

- 講師 前田 考美 (たんぼほの家 出展作家)
- 日時 11月11日(土) 13:00~16:00
- 会場 1階 アトリウム
- 定員 材料がなくなり次第終了(約50名分)
- 申込 不要 先着順(※座席数の都合により番号札制でのご案内します)



「花火」前田考美、2019年

トークイベント

たんぼほの家の「扉をあける」

きく

手話通訳付き

今年で法人50周年を迎えるたんぼほの家。活動の基となる理念や、今まで歩んできた様々な取り組み事例をご紹介します。

- 講師 岡部 太郎 (一般財団法人たんぼほの家 常務理事)
- 日時 11月12日(日) 14:00~ 50分程度
- 会場 1階「扉をあける」会場内
- 定員 椅子席30名程度
- 申込 不要 先着順(15分前開場)



写真:衣笠奈津美
アートセンター-HANA アトリエの様子

ギャラリーツアー

本展を鑑賞して巡りながら作品の見どころを紹介します。
案内人 吉永 朋希 (アートセンター-HANAアートディレクター)、
出展者、支援センタースタッフ

- 日時 11月11日(土) 11:00~
11月18日(土) 15:00~ 各50分程度
- 会場 1階「扉をあける」会場受付に
5分前までにお集まりください
- 定員 制限なし
- 申込 不要



今年のギャラリーツアー

きく 手話通訳付き
はなす 作者と出会う



お問い合わせ
おおいた障がい者芸術文化支援センター〔(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団〕
〒870-0029 大分県大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 4階
TEL.097-533-4505(平日9:00~17:00) FAX.097-533-4013
E-mail: artbrut-oita@emo.or.jp

パフォーマンス発表 「よるの扉をあける~ オリジナル影絵芝居」

鑑賞する

たんぼほの家が継続して実施してきた影を用いたダンスや、インドネシアの影絵芝居を参照しつつ参加者と一緒にオリジナル影絵芝居を創作し、ガムラン楽器の演奏と共に発表します。

- 日時 11月12日(日) 夕方
- 会場 1階 アトリウム
- 申込 不要
- 詳細 おおいた障がい者芸術文化支援センター
ホームページで情報公開



同時期開催

第28回 ときめき作品展

鑑賞する

県内の障がいのある個人や施設から集まった数百点の作品が一堂に展示されます。来場者投票でその年の「ときめき大賞」が選ばれます。

- 日時 11月8日(水)~19日(日)
10:00~18:00
- 会場 1階 アトリウム
- 主催 大分県障害者社会参加推進協議会
- 問合せ 097-558-8797
(大分県障害者社会参加推進センター)



昨年の様子

おおいた障がい者芸術文化 支援センター事業紹介展

鑑賞する

2019(令和元)年に大分県に設置された「おおいた障がい者芸術文化支援センター」は、相談対応、創造・発表・鑑賞機会の提供など、様々な切り口で事業を行っています。これまでの活動を振り返ります。

- 会期 「扉をあける」と同会期
- 会場 1階 アトリウム
- 主催 おおいた障がい者芸術文化支援センター
- 問合せ 097-533-4505
(おおいた障がい者芸術文化支援センター)



鑑賞ワークショップ「彫刻をさわる時間」

大分県立美術館 (大分県大分市寿町2番1号)

- 徒歩=JR大分駅 府内中央口(北口)から徒歩15分
車=大分ICから10分
国道10号線・別府市内から25分 駐車場あり(有料)



facebook
@artbrut.oita
https://artbrut-oita.com



©YAMADA Satoshi



©HIRAMATSU Masatoshi

あける

2023.11.8 (wed) ▶ 11.18 (sat)

開館時間: 10:00 ~ 19:00 *金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

会場: 大分県立美術館1階 展示室A
【同時開催】第28回 ときめき作品展 会場: 大分県立美術館1階 アトリウム
主催: おおいた障がい者芸術文化支援センター
〔(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団〕
協力: 一般財団法人たんぼほの家、たんぼほの家アートセンター-HANA、
Able Art Company、Good Job! Center KASHIBA
後援: 大分県教育委員会、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、
大分県障害者社会参加推進協議会、大分県民芸術文化祭実行委員会、
NPO法人大分県芸術、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、
TOSテレビ大分、OAB大分明日放送、エフエム大分、J-COM大分ケーブルテレビコム
第25回大分県民芸術文化祭参加行事
この展覧会は、大分県から(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団が委託を受け、企画・運営しています。